

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高須 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

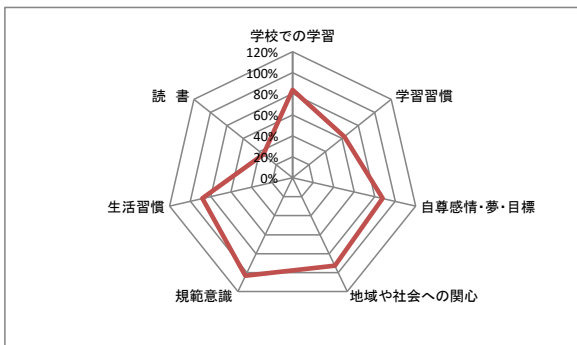
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○平均正答率は全国を下回り、特に「話すこと・聞くこと」に課題がある。記述式や短答式の問題で無回答率が高く、問題に向き合おうとする姿勢を育てていく必要がある。 ○「書くこと」では、全国の平均正答率を上回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	◎自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や構成や展開を考慮することができている。 ◎文の中における修飾と被修飾との関係をとらえることができている。	
	努力が必要な問題	●文の中における主語と述語の関係をつねる問題では、特に正答率が低い。 ●資料の目的を理解したり、目的や意図に応じて資料を使って話したりすることに課題が見られる。	
算数	全体的な傾向や特徴など	○平均正答率は全国を下回り、その差は国語よりも大きい。 ○「図形」「変化と関係」領域の正答率が低く、図形の構成要素や道のり・時間・速さの関係をとらえきれていない。「測定」領域は正答率が高く、時刻を求めることができている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	◎午後1時35分から50分後の時刻を求めることができている。 ◎集団の特徴をつねるために適切なデータを選ぶ問題では、無回答率が全国よりも低い。	
	努力が必要な問題	●三角形や複合図形の面積を求めたり比べたりする問題では、特に正答率が低い。 ●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することに課題が見られる。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○規範意識が高まってきている。今後も、「いじめについて考えよう集会」の運営等を通して、児童の規範意識の一層の向上を目指す。</p> <p>○地域や社会への関心が高まり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えようとする姿勢が見られる。</p> <p>○自分で計画を立てて勉強したり、読書をしたりする児童がとても少ない。自主的に学習する態度を育てていく必要があり、家庭(保護者)とも連携して取組を進めていく。</p> <p>○朝食摂取率が大幅に低下している。食育の取組を進め、心身ともに健康な児童の育成に努めていく。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 学力向上部会を中心に家庭学習の在り方を見直し、学年に応じた時間・内容の家庭学習が行われるようにする。
- 図書時間の確保、各教科等の学習における図書の活用、図書祭り等の行事等を通して、読書習慣の定着を図る。
- 委員会やクラブ活動、学校行事等を通して、自尊感情を高め、自己有用感を感じることができるようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 児童の学習・読書習慣の定着に向け、学校だよりやHP等を通して保護者に理解と協力を仰ぎ、連携して取り組んでいく。
- 食育の取組を充実させ、朝食摂取率を高めるとともに、規則正しい生活習慣を身に付けさせていく。
- 地域の施設やまちづくり協議会等と連携し、児童の地域行事への参加や地域ぐるみでの教育活動の推進に努める。